

明徳寺報

2024年10月1日
第598号
発行
住職 秦 信明
長浜市木之本町黒田

報恩講勤修

10月25日(金)～27日(日)

下記の報恩講概要をご覧ください

「お斎」はありません

法話一住職・前住職

マスクの着用は各自の判断でお願いします。門徒輪袈裟を着用ください。

「報恩講志」は本堂内の受付でお願いします。お誘い合わせてお参りください

【報恩講の準備】

*教化委員会 10月12日(土) 午後7時

対象者 世話方・若葉会役員・女性部正副部長・推進員代表・女性組門徒会員・総代・責任役員

*すす払い 10月20日(日) 午前8時 当番—3組・4組

*磨きもの 10月20日(日) 午後1時 世話方・婦人部役員・総代

*お華立て 10月24日(木) 午後7時 若葉会会員

*直前の準備 10月25日(金) 午前10時 総代・世話方

令和6年度 紫雲山明徳寺 報恩講概要

10月25日～27日

日	法座	時刻	和 讀	回 向	次第	備 考 (法話等)
25日	初逮夜	午後3時	彌陀成仏のこのかたは	我説彼尊功德事	6首	法話 前住職
26日	晨 朝	午前7時	道光明朗超絶せり	世尊我一心	6首	お文・法話 住職
	初日中	午前10時	本師龍樹菩薩の	願以此功德	6首	法話前住職 御伝抄
「お斎」はありません。参詣者のお茶はセルフでお願いします						
27日	大逮夜	午後1時	十方微塵世界の	我説彼尊功德事	6首	御俗姓・法話(ビデオ)
	初 夜	午後7時	彌陀成仏のこのかたは	願以此功德	同朋奉讃	女性部・若葉会・日曜学校
27日	晨 朝	午前7時	南無阿弥陀仏の廻向の	世尊我一心	6首	お文・法話 住職
	結願日中	午前10時	三朝浄土の大師等	願以此功德	3首	住職・責任役員御満座御礼

*大逮夜と結願日中の正信偈は「真四句目下」です。

秋季永代経執行

去る9月21日（土）秋季永代経を勤めました。今までコロナ禍の中で春秋の永代経は午前中のみで勤めておりましたが、役員会で協議し今回からコロナ前の状況に戻して、午前・午後に勤修することにしました。「御講」についてはしばらく中止にしており、「お斎」はありませんでした。

役員は当日午前9時に集合し、華東盛り、提灯、向拝幕の設置や、会場準備を致しました。鳴り物を合図に午前10時から、住職・前住職出仕の下でお勤めが始まりました。一同総礼の後、伽陀先請弥陀入道場・御経は仏説阿弥陀経、続いて正信偈同朋奉讚、和讃は弥陀成仏のこのかたはでした。経中参詣者がお焼香をしました。約40人のお参りでした。「御文」拝読の後、住職が「永代経の意味について」お話をされました。

午後は1時からお勤め（午前中と同じ）があり、続いて前住職から「問い合わせと共に歩む生活を」をテーマとしてお話しがありました。「お寺は何のためにあるのか」「私たちは本当に真宗門徒になれているのか」と問い合わせられました。皆様にはご大儀に預かり御礼申し上げます。（役員一同）



明徳寺ホームページ <http://myoutokuji.main.jp>

*報恩講用のお花がありましたらいただけないでしょうか。10月24日に華立てをしますので夕方までにいただければありがとうございます。ご連絡していただければ寄せていただきます。

「流しソーメン」に子ども 12 人、保護者 7 人が参加 「日曜学校」秋のお楽しみ企画

日曜学校では、去る 9 月 22 日（日）午前 10 時より「流しソーメン」を実施して、とても楽しいひと時を過ごしました。当日はあいにく早朝から雨模様で、開催が危ぶまれましたが、本堂の階段付近を利用して雨を避けながら準備しました。

みんなが集合してから、本堂でお勤めをしました。その後流しソーメンの準備をして、みんなで美味しくいただきました。連日続いた猛暑も台風の影響で雨に変わり、境内での開催とはいきませんでしたが、午後からは雨もやみ、とても楽しい時間を過ごしました。



坂口門徒の方へ（お知らせ）

来る 10 月 25 日からの明徳寺報恩講期間中、坂口門徒中からお預かりしています「親鸞聖人の御影」を、南の余間におかけしますので、是非お参りくださるようお願ひいたします。

同朋のつどい

来る 10 月 26 日（土）午後 7 時から、報恩講のお初夜のお勤めを「同朋のつどい」として開催します。若葉会・女性部・日曜学校の皆さん方が中心となってお勤めします。一般のご門徒の方も是非ご参詣ください。

お勤めの後、bingo ゲームなど楽しい企画も準備しています。ご家族そろってお参りくださるようご案内致します。

10月の行事

期日	曜日	時 刻	内 容
5~6	土日	1泊2日	若葉会京都東西本願寺参拝研修旅行宿泊—西本願寺聞法会館
6	日	午前8時	日曜学校
10	木	午後2時	組合唱団「山河サンガ」練習会場—浄教寺（東阿閉）
12	土	午後7時	教化委員会（報恩講事前打ち合わせ）
13	日	午前8時	日曜学校
20	日	午前8時	すすはらい 当番—3組・4組のみなさん
		午後1時	みがきもの 世話方・女性部役員・総代
24	木	午前10時	長浜別院報恩講団参
		午後7時	若葉会華立て作業
25~	金 土 日	概要参照	午前10時—報恩講準備 午後3時—初逮夜
			晨朝—初日中—大逮夜—初夜（同朋のつどい）
27	月	午前10時	晨朝—結願日中
28	月	午前10時	親鸞聖人御命日のつどい
30	水	午前10時	五村別院報恩講団参

長浜・五村別院報恩講

明徳寺では、10月24日（木）長浜別院、30日（水）五村別院へ団参します。女性部部員・紫雲朋の会会員の皆様はこの機会にぜひお参りください。各自で直接別院へお参りください。

両別院共午前10時から音楽法要、午後1時から大逮夜のお勤めがあります。

長浜別院報恩講

- 10月22日（火）美濃部俊裕氏（24組・来入寺）
- 10月23日（水）堀澤俊行氏（13組・念願寺）
- 10月24日（木）藤井善隆氏（大阪・即應寺）
- 10月25日（金）藤井善隆氏（大阪・即應寺）

五村別院報恩講

- 10月28日（月）有賀尚子氏（13組・光了寺）
- 10月29日（火）黒田進氏（14組・満立寺）
- 10月30日（水）池田徹氏（三重・西恩寺）
- 10月31日（木）池田徹氏（三重・西恩寺）

【報恩講について】

宗祖親鸞聖人は、1262（弘長2年）11月28日に、90歳のご生涯を終えられました。親鸞聖人をはじめ、念佛の教えに生きられた先達に思いをいたし、その恩徳に感謝し報いる法要が報恩講です。お念佛の教えを聴聞し、自らの生活を振り返る、1年でもっとも大切な御仏事として、全国各地の寺院・教会をはじめ、ご門徒の家々においても勤められており、「お取越」「お引上」の名でも親しまれています。

「お取越」とは、ご門徒の家々における報恩講の別称です。親鸞聖人の御命日が巡ってくる前に取り越して勤めることからそう呼ばれており、「お引上」も同様の意味です。

報恩講は、人々が寄り合い、お斎をいただくななど、共にふれ合いつつ聞法する場として、今まで脈々と勤められてきています。お誘い合わせてお参りください。

